

8月31日、「いちばん館」において、村食生活改善推進員の研修会が行われました。

この研修会は、推進員の技術及び知識の向上を目指して毎年行っているものです。

推進員10人が参加した研修会では、身近にある野菜を使いポテトピザなどを作って試食しました。

今年度は「食育」を中心に活動中



▲研修会のような様子

食生活改善推進 委員会の研修会

食生活改善推進協議会では、すべての年代に食についての問題はあつたものの、今年は未来を担う子どもたちに焦点をあてて活動しています。

皆さんも、地区の若妻会や子ども会の行事等に「食育」に関する活動を取り入れ、子どもの食について一緒に学習してみませんか。

一緒に子育て楽しみましょう —育児サークル紹介—

子育てのこと、子どもの発育のこと、それから、ちょっといろんな事を話したいなと思つていても、近くに同じ年代のお子さんがいない。そんな悩みありませんか。

現在、飯館村では、子育て中のお母さんが集まって活動中。私もと思う方は、代表の方に連絡してみてください。楽しいサークルが待っています。



ニコニコちゃいるど

代表 西美香 上飯樋 (電話 43-2703)

内容 平成15年8月設立 活動
現在会員 親9名 子11名
(まだはいはい、よちよち歩きの子もたちです。)
毎月1回 第3木曜日
会費 200円

10月は、「ニコニコちゃいるど」と「スマイルキッズ」合同の親子体操を予定しています。お気軽にお問合わせください。



スマイルキッズ

代表 菅野ひとみ 宮内 (電話 42-1227)

内容 平成13年4月設立 活動
現在会員 親15名 子20名
(幼稚園入園前を対象 ちょっと大きい子です。)
毎月1回 第3木曜日
会費 300円

家族と一緒に一足早い敬老会

いいたてホーム敬老会



▲演芸を披露する婦人会

いいたてホームの敬老会は、9月12日に同ホーム施設内で行われ、入居者たちが家族と一緒に演芸鑑賞や食事をして楽しみました。

この日は、9月20日の村敬老会に参加する婦人会のつち、伊丹沢、関沢、八木沢・芦原、佐須、白石の5つの婦人会がホームを訪れ、演芸を披露しました。

演芸を楽しんだ後、入居者たちはそれぞれの家(ユニット)に移動し、家族たちと食事をしながら一足早い敬老会を楽しんでいました。



常念寺が日赤社へ

救援金を寄付

9月2日、二枚橋の常念寺(佐藤幸夫住職)から、日本赤十字社に国際救援金として2万1,250円を寄せていただきました。

常念寺では、10年前から「難民にあなたの慈悲を」と書いた募金箱を募金箱の隣に設置し、救援金を集めてきました。

募金箱を設置してから10年目の今年、「人に役立てて欲しい」との思いが募金箱をいっぱいにして、佐藤住職は義援金について、「金額は少ないと思いますが、10年分の思いが詰まっています。大切に使用していただきたい」と話していました。



▲役場の日赤担当者(佐藤幸夫住職)と募金箱の中身を確認する佐藤幸夫住職(写真左)(募金箱の中には10銭玉も1枚入っていました)

10年分の思いが詰まった募金箱